

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	博物館概論					授業形態	講義		
科目コード	710100	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	安井 雄一郎								
授業概要	<p>博物館とは、人文学、自然科学などすべての学問を含むヒトの歴史から自然史までの全ての事象を、いくつかの分野に切り分け、それぞれの分野において専属の学芸員を置き、当該分野で設定されたテーマに即して調査研究・収集保管・公開（展示・展覧会）等の活動をおこなうとともに、それらの成果を時代の記録として後世に伝えていく専門施設のことを言う。またそこで働く専門職を学芸員という。</p> <p>しかし、博物館と一言で言うその有り様は、人文学系から自然科学系まできわめて広く且つ多様である。またそこで活動する学芸員も、人文系博物館と自然史系博物館の学芸員では相手にする資料もその方法論もこれまた多様である。</p> <p>そこで本講では、それら多様な博物館類から私が関わった美術系博物館、すなわち美術館を取り上げ、①学芸員としてつとめた地方美術館での32年間の実体験を踏まえながら調査研究、収集保管、展示公開という博物館の三大要件の美術博物館での実践例、②活動のかたわら定点観測的にみてきた九州・山口地域における主に公立美術館の実状等々を美術館紹介も兼ねて概説する。人文学系と自然科学系で専門領域は異なるが、これから学芸員をめざす本学の学生諸氏にとって何らかの役にたてば幸いである。</p>								
関連する科目									
授業の進め方と方法	主に講義形式で授業を進める。講義内容の理解を助ける補助手段としてスライド、映像資料などを利用する。								
授業計画【第1回】	I部 美術館（美術博物館）とは？ ①美術館（美術博物館）とは？								
授業計画【第2回】	②はじめ学芸員は「雑芸員」だった～1970～80年代のころ～								
授業計画【第3回】	II部 九州・山口の美術館から ③新生とげられるか大分県立美術館								
授業計画【第4回】	④新生の軌道に切り替えられるか宮崎県立美術館								
授業計画【第5回】	⑤指定管理者制度と美術館								
授業計画【第6回】	III部 たしなみとしての美術とは、美術史とは？ ⑥絵・様式・フォルム・モチーフ・アトリビュート・図像学など（1）								
授業計画【第7回】	⑦絵・様式・フォルム・モチーフ・アトリビュート・図像学など（2）								
授業計画【第8回】	⑧絵画の近代を作った西洋絵画（1） 人物画とヨーロッパ絵画～日本の近代美術理解のために～								
授業計画【第9回】	⑨絵画の近代を作った西洋絵画（2） 19世紀フランス絵画の現在～変容する美術史像～								
授業計画【第10回】	IV部 美術博物館の学芸員として誰（美術家）を、何（美術資料）を、どう顕彰（検証）してきたか？ ⑩洋画家・香月泰男（1）								
授業計画【第11回】	⑪洋画家・香月泰男（2）								

授業計画 【第12回】	⑫洋画家・香月泰男（3）
授業計画 【第13回】	⑬洋画家・松田正平
授業計画 【第14回】	⑭高鍋大師（1）
授業計画 【第15回】	⑮高鍋大師（2）
授業の到達目標	①博物館とは何をめざす専門施設なのか理解を深める。 ②博物館ではたらく学芸員について理解を深める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	授業を通して以下のことなどに心がけてください。 ①美術館・博物館の活動内容をイメージ的ではなく具体的・実際に理解するよう努める。 ②美術館・博物館などの施設に出かけて本物（実物）を見ることを実践する。 ③有形・無形文化財や歴史的建造物・遺跡などに接し歴史を俯瞰する知的想像力を涵養するべく努める。
授業時間外の学修 【復習】	
課題に対する フィードバック	小レポート1本、大レポート1本を書いてもらいます。いずれも学期終了時に提出のこと。 まず①大レポートのテーマは、美術館を訪ね、訪問時に開催中の企画展、常設展どちらでもいいので、その美術館で見学した展覧会について、テーマ設定の仕方、テーマに即した資料の見せ方（展示の仕方）などを、授業で取り上げた展覧会論に照らし合わせて自分なりに評価し、その概要をレポートにまとめてください。なお、美術館はかならずしも大学から近隣の美術館施設である必要はありません。 つぎに②小レポートについてはテーマ等、最初の授業のおりお知らせします。
評価方法・基準	小レポート30点、大レポート70点で採点。その総合点を成績とする。
テキスト	基本的には使わない。講義およびスライドほかの映像資料を中心に授業を進めていく。
参考書	①香月泰男画集 生命（いのち）の讃歌（平成16年・小学館） ②香月泰男 シベリヤ画文集（平成16年・中国新聞社） ③凍土の断層 香月泰男〈シベリア・シリーズ〉を読み解く（平成29年・東京美術） ④評伝 飄逸の画家 松田正平（令和2年・みすず書房） ※直接の参考書ではないが授業のなかで言及する画家のなかで特に詳しく取り上げる美術家に関する書。①、②は共著。③、④は単著（自著）。購入までする必要はないが、図書館等で目を通してもらうと、絵をみるときのヒントになると思う。とくに③の『凍土の断層』は一読を勧める。
備考	